

# 平成27年度市民協働事業 自己評価結果

## 1. 実施概要

- ◆平成27年度に実施した市民協働事業で、仙台市と協働の相手方それぞれが、事業および協働のプロセスについて自己評価を実施した109事業について、結果を集計したもの
- ◆市民協働事業をより効果的に進めるための手引きの作成を視野に、事業や協働のプロセスの評価のモデルとして仙台市・協働の相手方それぞれが共通の設問(仙台協働本より抜粋した10問)に対し、5段階で自己評価を実施した

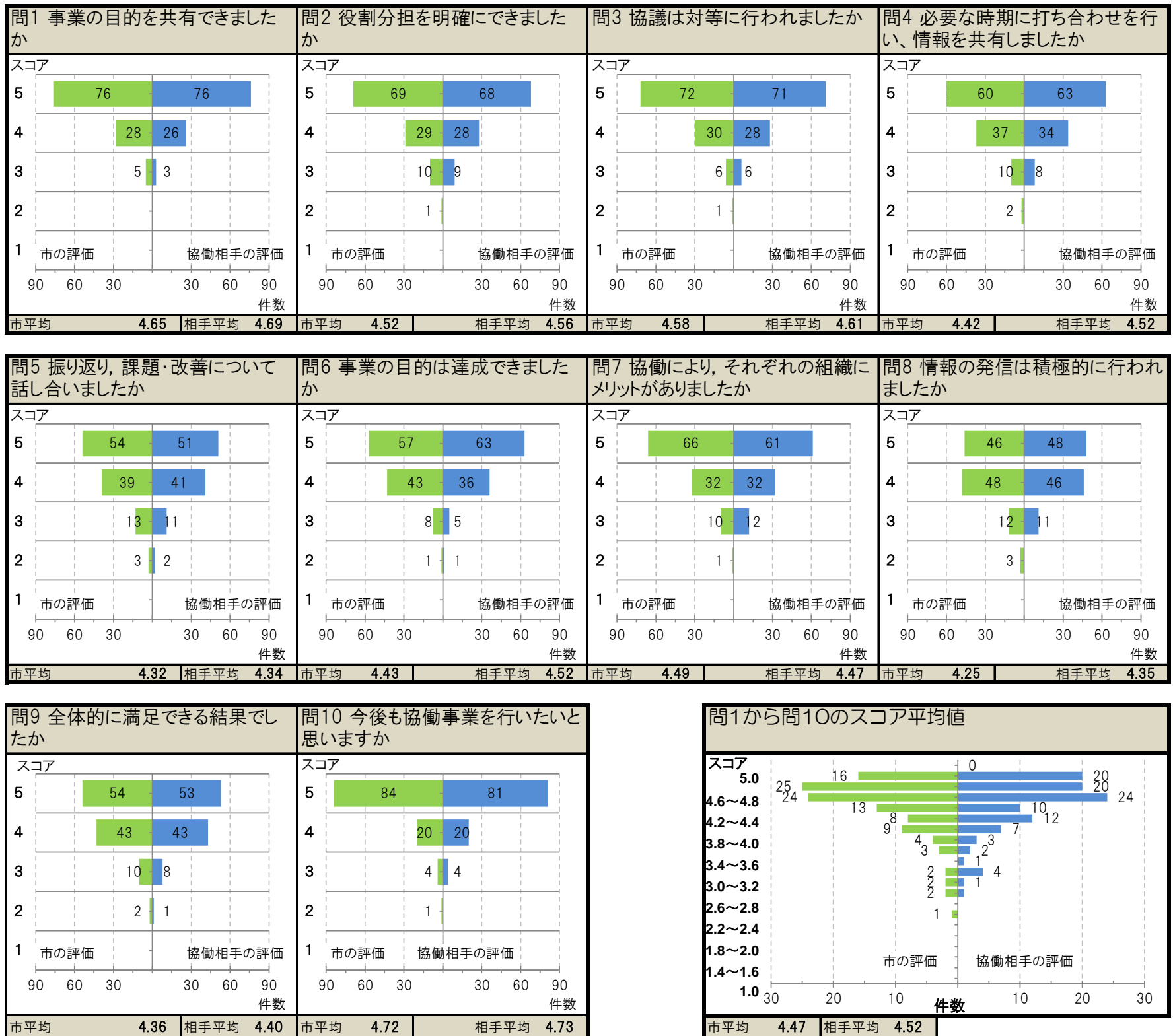
**【設問】**

- 問1 事業の目的を共有できましたか
- 問2 役割分担を明確にできましたか
- 問3 協議は対等に行われましたか
- 問4 必要な時期に打ち合わせを行い、情報を共有しましたか
- 問5 振り返り、課題・改善について話し合いましたか
- 問6 事業の目的は達成できましたか
- 問7 協働により、それぞれの組織にメリットがありましたか
- 問8 情報の発信は積極的に行われましたか
- 問9 全体的に満足できる結果でしたか
- 問10 今後も協働事業を行いたいと思いますか

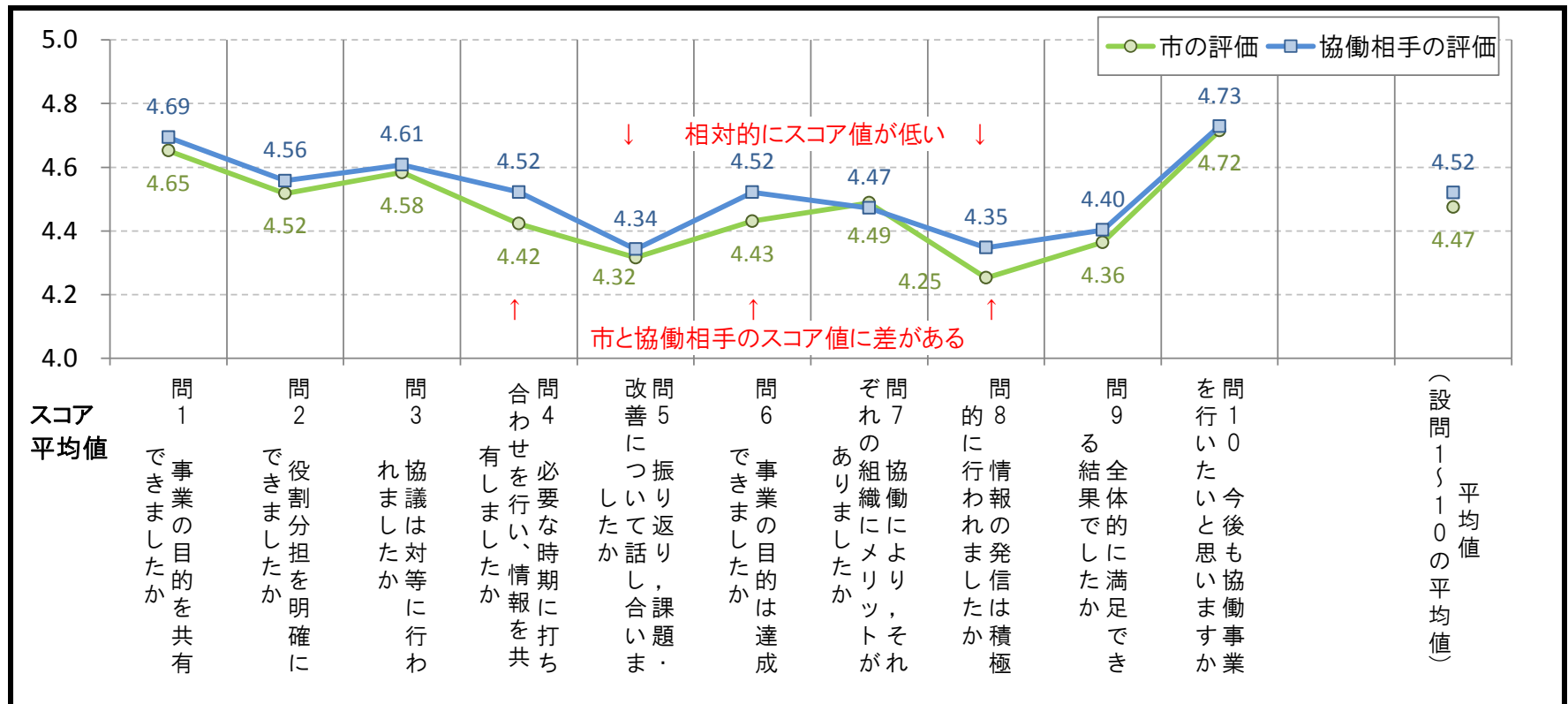
**【スコア】** 5: 「はい」  
 4: どちらかといえば 「はい」  
 3: どちらともいえない  
 2: どちらかといえば 「いいえ」  
 1: 「いいえ」

市の評価
  協働相手の評価

## 2. 各設問のスコア値分布



### 3. 設問ごとのスコア平均値比較



- 市の評価と協働相手の評価のスコア値の差が比較的大きかったのは、設問4(情報共有)・設問6(目的達成)・設問8(情報発信)であり、市と協働相手の間で取り組みに対する認識又は、選択肢の捉え方にギャップがある
- 設問5(振り返り)・設問8(情報発信)においては、市・協働相手ともに他の設問と比較してスコア値が低い傾向がある
- 設問1(目的共有)と比較し、設問6(目的達成)・設問9(満足できる結果だったか)のスコア値が低い
- 全体的にスコア値が4～5と高い水準に張り付いている

### 4. 自由記入欄より、主な意見の抜粋

#### 【市の評価】

- 良かった点
- ・各団体と行政機関が連携して地域の課題に対して横断的な取り組みができた
  - ・協働相手と目的意識を共有し、事業を実施することができた
  - ・市民団体が有するノウハウと人材を生かして実施しており、協働が不可欠である
  - ・地域で様々な情報を共有、意見を交換する場として有意義だった
  - ・事業の対象者から、高い満足度に加え理解度も深まったという結果を得られた

- 改善が必要な点
- ・実施期間が短かったため、事業の進め方や成果物の内容等、改善すべき点もあった
  - ・振り返りや課題の共有が今後の課題であり、打合せの回数増加が必要
  - ・年度毎に立ち上げる組織のため、連携相手として対等な役割分担を求めるのは難しい
  - ・より密接なメンバーの関わり方を引き続き検討する必要がある
  - ・情報の発信については、リアルタイムでの発信力のある情報発信が行えていない状況である  
外部HPの設置やSNSの活用等を通じた積極的な情報発信を検討する
  - ・資源を活用した地域づくりへの理解を地域全体のものとして働きかける必要がある

#### 【協働相手の評価】

- 良かった点
- ・組織の立ち上げから始めたこともあり準備不足感はあったが、運営面で行政の支援と連携により、結果は満足できた
  - ・限られた時間の中で良い結果を出せたと思っている
  - ・打ち合わせを定期的かつ機動的に実施し、お互いに忌憚のない意見交換をしながら進行することができた
  - ・全体に極めて良好に推移している。このアンケートの設問を見て、より意識的な振り返り等が必要なのかと考えた
  - ・構成メンバーに新たに次世代層を入れ、これまで着手できていなかった案件を整理できた

- 改善が必要な点
- ・組織と活動内容について地域住民により浸透させていくことが今後の課題
  - ・予算に対して業務内容が多く、自己負担割合が高い
  - ・担当者、参加者双方に負担がかかってしまった。無理のない進捗スケジュールの組み立てを図りたい
  - ・参加者、スタッフの人数が多く、当日参加のスタッフもいるので、目的の共有など改善していく点はある
  - ・日程優先で、明確な役割分担の決定は後手になってしまった
  - ・初回の行事という事もあり、意思の擦り合せが難しかった
  - ・長期に及ぶ取り組みだったため、各会合にも同一メンバーが集まらず、集中した議論に欠けるきらいがあった

# 「仙台協働本(こらぼん)」の評価項目

平成27年度市民協働事業の  
自己評価において参考にした項目

No.	段階	チェック項目
(1)	内部検討段階	1 内部検討段階 協働の政策的な考え方, 根拠を理解しましたか
		2 内部検討段階 協働の意義, ルールなどの本質を理解しましたか
		3 内部検討段階 現状や課題を明らかにできましたか
		4 内部検討段階 問題解決後の状況をイメージできましたか
		5 内部検討段階 事業目的を明らかにできましたか
		6 内部検討段階 協働の必要性, 理由を明らかにできましたか
		7 内部検討段階 双方が持つ資源の強み, 弱みを明らかにしましたか
		8 内部検討段階 協働の効果, 成果を検討しましたか
		9 内部検討段階 複数の手段を検討しましたか
		10 内部検討段階 事業目的達成の手順を検討しましたか
		11 内部検討段階 協働目的達成の手順を検討しましたか
		12 内部検討段階 協働の中期ビジョン(3年~5年)を検討しましたか
		13 内部検討段階 わかりやすい企画書を作れましたか
		14 内部検討段階 協働相手の選定について透明性を確保できましたか
(2)	協議段階	1 前提確認段階 協働の意義, ルールなどの本質を確認し合いましたか
		2 前提確認段階 お互いの特性, 立場, 状況などを確認できましたか
		3 協議段階 解決すべき課題を共有できましたか
		4 協議段階 問題解決後のイメージを共有できましたか
		5 協議段階 それぞれが持つ強み, 弱みを確認し合いましたか
		6 協議段階 役割分担を明確にできましたか
		7 協議段階 事業の直接効果を共有できましたか
		8 協議段階 事業の間接効果を共有できましたか
		9 協議段階 コストは協議できましたか
		10 協議段階 コストは適正でしたか
		11 協議段階 コストの支払い方法を協議できましたか
		12 協議段階 トラブルの対処, 役割を協議できましたか
		13 協議段階 未解決事項の先送りはなかったですか
		14 協議段階 お互いに共通する言葉で協議できましたか
		15 協議段階 協働目的を文章化して共有できましたか
		16 協議段階 協働の中期ビジョンを協議できましたか
		17 協議段階 わかりやすい企画書, 契約書を作れましたか
		18 協議段階 協議は対等でしたか
		19 協議段階 公表手続きを決めましたか
(3)	実施・終了段階	1 実施段階 事業の進捗管理が行われましたか
		2 実施段階 合意事項を実現しようとお互い努力しましたか
		3 実施段階 必要な時期に打ち合わせを行いましたか
		4 実施段階 トラブル発生時の対応は迅速・適切でしたか
		5 実施段階 変更事項に対する協議は柔軟でしたか
		6 実施段階 中間振り返りを行いましたか
		7 実施段階 打ち合わせ事項を記録に残し, 共有しましたか
		8 終了段階 指標による成果目標と達成度をまとめましたか
		9 終了段階 振り返り, 課題・改善について話し合いましたか
		10 終了段階 事業の目的は達成できましたか
		11 終了段階 協働の目的は達成できましたか
		12 終了段階 事業の直接効果はありましたか
		13 終了段階 事業の間接効果はありましたか
		14 終了段階 市民満足度は向上しましたか
		15 終了段階 協働過程は順調でしたか
		16 終了段階 お互いの組織にメリットがありましたか
		17 終了段階 トラブル解決は適正でしたか
		18 終了段階 協働の成果は公開されましたか
		19 終了段階 全体的に満足できる結果でしたか
		20 終了段階 今後も協働事業を行いたいと思いますか